

(公社) 日本給食サービス協会会長賞

『心に残っている給食』

福島県二本松市立岳下小学校 五年一組 女子 田中 怜菜

わたしが心に残っている給食は、ざくざくです。ざくざくは、二本松のちようちん祭りの時に食べる郷土料理です。

なぜ心に残っているかというところ、自分達で作って食べたからです。

ざくざくは、具材がたくさん入っています。その具材は、にんじん、しいたけ、ごぼう、こんにゃく、だいこん、鶏肉、さつまあげ、さといもなどで、味つけは、しょうゆ、みりん、酒で味つけします。

このざくざくは、三年生の総合学習の時に三学年みんなで、具の切り方や、調味料の量などいろいろ教わりながら作りました。始めは、作るのが楽しみだったのでですが、作ってみたら、こんにゃくは、つるつるすべって切りづらいし、だいこん、にんじん、ごぼうはかたくて切りづらいので、とてもむずかしいなと思いました。でも、自分達だけで作ったざくざくは、今まで食べた中で一番おいしいなと思いました。たぶん、みんなで協力して作ったから、とてもおいしく感じられたのだと思います。

家に帰ってから、母に、ざくざくを作った話を話したら、

「家でお祭りの時に作っているざくざくの材料とはちょっとちがうから怜菜作ってみて。」と言われてしまいました。家のざくざくは、ごぼう、こんにゃく、さといも、しいたけしか入っていません。わたしは、具材が少ないなあと考えて、

「なんで材料が少ないの?。」

とたずねてみました。そうしたら、

「各家庭で入れる具材はちがうらしいよ。」  
と教えてくれました。

わたしは、学校で作ったざくざくを家でも作ってみる事にしました。ひとりで作るのは少し不安だったので、母にも手伝ってもらいながら作りました。

わたしが作ったざくざくが出来たら、母は、

「具材がたくさん入っているとおいしいね。」

とほめてくれました。わたしは、自分で作ったざくざくがとてもおいしくて、たくさんおかわりして食べました。

ざくざくは、二本松にしかない汁物で、他にはない食べ物です。祭り事やお祝い事がある時にしか作らない汁物らしいです。

自分で作ったざくざくがとてもおいしかったので、わたしは、毎日でもおかわりして食べたいなあと思いました。なぜなら、何度おかわりしてもあきない味だからです。多分ざくざくを知らない人でもたくさん食べられると思います。

学校で作った時は、総合学習の時に作ったので、もう学校では作る機会もないだろうなと思うので、また食べたくなったら家で作ってみたいと思います。そして、郷土料理を大切に守っていききたいです。